

○令和7年度 事後評価対象社会資本総合整備計画一覧表

農山漁村地域整備計画

計画の名称

静岡県における力強い産地づくりに向けた漁港整備と環境整備の推進(第3期)

計画策定主体

静岡県

対象市町村

熱海市、下田市、南伊豆町、吉田町

計画の期間

令和2年度～令和6年度(5年間)

計画の目標

安全で効率的な水揚げ作業や漁港施設の機能確保、漁港交流人口の増加、集落環境の保全を目指し、力強い産地づくりに向けた漁港整備を推進する。

定量的指標

- ・緑地・交流広場の整備により漁港来訪者を年間6.5万人増加させる。(吉田地区)
- ・良好な集落環境整備のため、4地区について漁業集落排水施設を対象とした長寿命化対策を実施する。(初島地区、田牛地区、妻良(妻良)地区、三坂(中木)地区)

対象事業

別紙のとおり

(別紙)

農山漁村地域整備計画の対象事業

事業名			事業実施主体	関係市町村	計画期間内 の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内 の総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
漁港漁村環境整備事業	漁港環境整備事業	吉田	吉田町	吉田町	環境施設・用地整備 A=1.5ha, V=5,000m ³	R2 ~ R6	470,654	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁港漁村環境整備事業	漁業集落環境整備事業	初島	熱海市	熱海市	機能保全工事 N=1式	R2 ~ R2	9,900	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁港漁村環境整備事業	漁業集落環境整備事業	田牛	下田市	下田市	機能保全工事 N=1式	R2 ~ R2	49,700	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁港漁村環境整備事業	漁業集落環境整備事業	妻良(妻良)	南伊豆町	南伊豆町	機能保全工事 N=1式	R2 ~ R2	10,000	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁港漁村環境整備事業	漁業集落環境整備事業	三坂(中木)	南伊豆町	南伊豆町	機能保全工事 N=1式	R2 ~ R2	12,000	総事業費が10億円以下のため未記入	
						~			
						~			
						~			
						~			
合計 (全体事業費)							552,254		

(別紙)

農山漁村地域整備計画の対象事業の関連事業

事業名			事業実施主体	関係市町村	計画期間内 の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内 の総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
漁村整備事業	緑地・広場施設整備	吉田	吉田町	吉田町	環境施設・用地整備 A=1.5ha, V=5,000m ³	R3 ~ R6	96,346	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁村整備事業	漁業集落排水施設整備	初島	熱海市	熱海市	機能保全工事 N=1式	R3 ~ R6	273,700	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁村整備事業	漁業集落排水施設整備	田牛	下田市	下田市	機能保全工事 N=1式	R3 ~ R3	20,000	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁村整備事業	漁業集落排水施設整備	妻良(妻良)	南伊豆町	南伊豆町	機能保全工事 N=1式	R3 ~ R6	81,000	総事業費が10億円以下のため未記入	
漁村整備事業	漁業集落排水施設整備	三坂(中木)	南伊豆町	南伊豆町	機能保全工事 N=1式	R3 ~ R6	98,500	総事業費が10億円以下のため未記入	
						~			
						~			
						~			
						~			
合計 (全体事業費)							569,546		

静岡県農山漁村地域整備計画

(計画名称: 静岡県における力強い産地づくりに向けた漁港整備と環境整備の推進(第3期))

凡 例

- 漁港環境整備事業
- ▲ 漁業集落環境整備事業
- 関連事業（漁村整備事業）



事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体である静岡県漁港整備課において評価を実施し、その結果を学識経験者（静岡県社会資本総合整備計画等評価アドバイザー制度を利用）へ報告し、参考意見を聴取した。	令和8年2月
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 吉田漁港において、緑地・交流広場を整備し、漁港交流人口が増加した。 初島地区・田牛地区・妻良（妻良）地区・三坂（中木）地区において、漁業集落排水施設の計画的な改築を行い、施設を長寿命化させた。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	吉田漁港へ整備された交流広場については令和4年度に静岡県総合防災訓練においてヘリポートとして活用されており、今後緊急支援物資の輸送ルートとしての活用も期待される。
○特記事項(今後の方針等)	
本計画で整備した施設については、引き続き整備効果が發揮し続けられるよう、各管理者が適切に維持管理をしていく。	

○目標値の達成状況

番号	指標(略称)	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	吉田漁港環境整備施設における利用人数の増加	
1	最終目標値	6.5万人
	最終実績値	6.9万人
2	漁業集落排水施設の長寿命化対策実施地区数	
	最終目標値	4地区

令和7年度 社会資本総合整備計画<事後評価>

整備計画名

力強い産地づくりに向けた漁港整備と環境整備の推進

(1)事業の目的

安全で効率的な水揚げ作業や漁港施設の機能確保、漁港交流人口の増加、集落環境の保全を目指し、力強い産地づくりに向けた漁港整備を推進する。

(2)指標

指標①	指標設定考え方	吉田漁港への緑地や交流広場の整備により、快適な漁港環境が形成されることから、漁港環境整備施設における漁港交流人口の増加を設定した。 漁港交流人口=吉田漁港環境整備施設用地面積(㎡)×吉田漁港来訪者数(人)
	達成状況	令和6年度末の最終実績値は6.9万人であり、目標(6.5万人)を達成した。

計画の成果目標	定量的指標		
	R2当初	R6未最終目標	R6未最終実績
①漁港交流人口の増加	-	6.5万人	6.9万人

令和7年度 社会資本総合整備計画<事後評価>

(3) 指標に関する実施事例



令和7年度 社会資本総合整備計画<事後評価>

(4)定量指標以外の効果発現状況

吉田漁港へ整備された交流広場については令和4年度に静岡県総合防災訓練においてヘリポートとして活用されており、今後緊急支援物資の輸送ルートとしての活用も期待される。

(5)今後の方針と目標達成見込み

本計画で整備した施設については、引き続き整備効果が発揮し続けられるよう、各管理者が適切に維持管理をしていく。